

令和 8 年 度 当 初 予 算
令和 7 年 度 2 月 補 正 予 算

主 要 事 業 の 概 要

人材育成・活躍推進部

人材育成・活躍推進部 令和8年度当初予算、令和7年度12月・2月補正予算（16か月予算）総括表

一般会計

(単位：千円、%)

款	項	令和7年度 1 6か月予算				令和8年度 1 6か月予算				比較			
		令和6年度 12月補正予算 (経済対策)	令和6年度 2月補正予算 (経済対策)	令和7年度 当初予算	計 D (A+B+C)	令和7年度 12月補正予算 (経済対策) (既決) E	令和7年度 2月補正予算 (経済対策) (案) F	令和8年度 当初予算 (案) G	計 H (E+F+G)	当初予算		1 6月予算	
										増減額	伸率	増減額	伸率
5款 生活労働費	1項 人材育成活躍 推進費			3,533,256	3,533,256			3,569,718	3,569,718	36,462	101.0%	36,462	101.0%
	7項 労働企画費	0		838,389	838,389			918,651	918,651	80,262	109.6%	80,262	109.6%
	8項 職業訓練費			6,251,987	6,251,987			7,864,176	7,864,176	1,612,189	125.8%	1,612,189	125.8%
	9項 失業対策費			357,369	357,369			401,437	401,437	44,068	112.3%	44,068	112.3%
	小 計	0	0	10,981,001	10,981,001	0	0	12,753,982	12,753,982	1,772,981	116.1%	1,772,981	116.1%
10款 教育費	8項 大学費			5,932,860	5,932,860			5,687,830	5,687,830	△ 245,030	95.9%	△ 245,030	95.9%
	9項 私立学校費	106,273	309,132	59,716,530	60,131,935	122,414	413,904	70,256,214	70,792,532	10,539,684	117.6%	10,660,597	117.7%
	10項 青少年費			369,246	369,246			435,814	435,814	66,568	118.0%	66,568	118.0%
	小 計	106,273	309,132	66,018,636	66,434,041	122,414	413,904	76,379,858	76,916,176	10,361,222	115.7%	10,482,135	115.8%
合 計		106,273	309,132	76,999,637	77,415,042	122,414	413,904	89,133,840	89,670,158	12,134,203	115.8%	12,255,116	115.8%

※ 本庁組織再編のため、R8年度当初予算から「市町村・地域振興部」に移管する「文化、生活安全、共助社会づくり関連経費」は含まない。

※ 本庁組織再編のため、R8年度当初予算から「人材育成・活躍推進部」に移行する「労働関連経費」を含む。

令和 8 年 度 当 初 予 算 (案) に お け る 主 要 事 業 の 概 要

人 材 育 成 ・ 活 躍 推 進 部
(単位：千円)

課 名	科 目			新規 継続	事 項 名	予算額 (一般財源)	前年度 予算額 (一般財源)	事 業 の 概 要
	款	項	目					
男女共同 参画推進課	5	1	2	新規	「あすばる」みらい ジェンダープロジェクト費	7,469 (7,469)	0 (0)	<p>1 目 的 個性と能力を発揮できる豊かで活力ある福岡県の実現のため、次代を担う若年層のジェンダー平等への理解を促進する。また、男性が抱える不安や悩みを解消する環境を整備する。</p> <p>2 事業概要</p> <p>(1) 大学生ジェンダーワークショップの開催 5,032 [内 容]・大学生がジェンダーに起因する社会的課題について考えるワークショップを開催。 ・課題解決に向けた方策等の成果を取りまとめ、知事等へ提言。 ・Instagram等を活用し、取組内容や成果を大学生が発信することで、同世代を中心にジェンダー平等への理解を促進。 [対象者]県内大学生30名(10名×3テーマ)</p> <p>(2) ジェンダーに起因する男性の不安や悩みを解消する環境の整備 2,437 [内 容]・多様化、複雑化する男性相談のニーズに対し、オンラインセミナーやオンライン面談を実施。 ・市町村相談担当者向け研修会を開催。</p>

令和8年度当初予算（案）における主要事業の概要

人材育成・活躍推進部
(単位：千円)

課 名	科 目			新規 継続	事 項 名	予算額 (一般財源)	前年度 予算額 (一般財源)	事 業 の 概 要
	款	項	目					
女性活躍 推 進 課	5	1	2	新規	私らしく働く！ 女性のキャリア応援費	81,701 (48,227)	0 (0)	1 目 的 「若者や女性に選ばれる福岡県」の実現のため、女性が自らの能力や関心に合った就業の機会を得られ、多様な働き方やキャリアを形成できるよう支援する。 2 事業概要 (1) 未来の働く女性のキャリア形成支援 13,991 [内 容] ・県内学生を対象に、就職時の県外転出理由を調査 ・女子学生に県内でのキャリア形成を考えてもらうため、企業見本市「福岡ジョブ・コレクション」を開催 [対 象] 県内女子学生（大学・短大・専門学生） (2) 働く女性のキャリア形成支援 23,595 [内 容] ・働く女性が企業や組織に関わらず、将来の目標となるロールモデルと出会い、交流できる場「福岡キャリア・カフェ」を開催 ※育児中等でも参加できるよう、オンラインとのハイブリッド型で開催 ・女性トップリーダーや多くのロールモデルと交流できる「福岡キャリア・ラウンジ」を開催 [対 象] 県内の働く女性 (3) ママと女性の就業支援センターの機能強化 44,115 ①女性のキャリア応援センター（仮称）の設置及び移転に伴う機能強化 [内 容] ・「ママと女性の就業支援センター」を、働きたい女性から働く女性までワンストップで支援する拠点に再構築 ・福岡センターの移転に伴い、個室型相談室やセミナールームを整備するとともに、就職支援セミナーを開催 ②働く女性のキャリア・リデザイン応援プロジェクト [内 容] 自分らしいキャリアを実現したい女性に対し、自己分析セミナーや企業との交流会を開催し、キャリアコンサルタントが就業を支援 [対 象] 自らの能力や環境にあった新たな職業分野へ挑戦する働く女性
就業支援課	5	7	3					

私らしく働く！女性のキャリア応援費 施策全体像 ～すべての女性が自分らしく輝ける社会を目指す～				
赤字：令和8年度主要事業				

対象	未来の働く女性 (大学・短大・専門学生)	働く女性 (社会人)	自分らしく働きたい女性 (新たな職業分野へ挑戦したい女性)	働きたい女性 (子育てなど無業の女性)
取組内容	(1)未来の働く女性の キャリア形成支援 就職意識調査を踏まえた 企業見本市	(2)働く女性のキャリア形成支援 (福岡キャリア・カフェ) 多様なロールモデルとの 交流の場 ○ ウィメンズ・ビジネス・キャンプ 管理職育成のための 階層別人材育成研修 ○ 福岡BOARD倶楽部 経営層参画を目指す フォーラム ○ 働く女性の健康支援 女性特有の健康課題に係る 情報発信	(3)ママと女性の就業支援センター 機能強化 新たな職業分野へ挑戦する 女性を支援 ○ Bloom福岡 女性の起業を応援 ○ ママと女性の就業支援センター 非正規から正規雇用への 就業促進	○ ママと女性の就業支援センター 就職相談・情報提供 職業紹介

令和 8 年 度 当 初 予 算 (案) に お け る 主 要 事 業 の 概 要

人 材 育 成 ・ 活 躍 推 進 部

(単位：千円)

課 名	科 目			新規 継続	事 項 名	予算額 (一般財源)	前年度 予算額 (一般財源)	事 業 の 概 要
	款	項	目					
就業支援課	5	7	1	新規	若者の未経験分野への 就職チャレンジ応援費	50,926 (50,926)	0 (0)	<p>1 目 的 求職者が経験の有無により自分の可能性を狭めることなく、未経験分野への就職にチャレンジできるようにするため、企業とのマッチングから就職後のOff-JTまでを一貫して支援する。 ※Off-JT：職場や通常の業務から離れて社外や組織外で実施される訓練や研修。</p> <p>2 事業概要</p> <p>(1) 合同企業説明会の実施 28,989 [内 容] 未経験分野への就職や学び直しに意欲的な求職者と、将来的な専門人材への育成に取り組む県内企業をマッチングする合同企業説明会を実施。 [時 期] 夏(7～8月)と秋(10～11月) [開催場所] 県内4地域(福岡、北九州、筑後、筑豊) [対 象] 求職者：専門人材としての活躍を目指す求職者(学生除く) 企 業：ものづくり、IT、農業、建設、警備に属する県内企業</p> <p>(2) Off-JT(分野別初任者研修)の実施 21,937 [内 容] 就職後に、専門人材として活躍を目指す第一歩として、入門的な知識を習得するための研修を分野ごとに実施。 [時 期] 秋(10～11月)と冬(1～2月) [開催場所] 福岡、北九州地域</p> <p>※求職者に対する合同企業説明会に向けたアドバイスや個別就職相談、フォローアップについては、福岡県若者就職支援センター相談員が対応。</p>

令和 8 年 度 当 初 予 算 (案) に お け る 主 要 事 業 の 概 要

人 材 育 成 ・ 活 躍 推 進 部

(単位：千円)

課 名	科 目			新規 継続	事 項 名	予算額 (一般財源)	前年度 予算額 (一般財源)	事 業 の 概 要
	款	項	目					
スポーツ企画 課	5	1	2	新規	福岡 × オセアニア - ワールドクラスアスリート 育成プロジェクト費	25,114 (19,439)	0 (0)	<p>1 目 的 国際舞台で活躍する本県アスリートを育成するため、オセアニアオリンピック委員会等と連携し、海外アスリート受入体制の構築、オーストラリアやフィジーとのスポーツ強化合宿の相互派遣・交流等を実施する。</p> <p>2 事業概要</p> <p>(1) アスリート受入に向けた体制構築 5,964 [内 容]・オセアニア地域からの若いアスリートを受け入れるための環境構築に向けた受入協議会を開催 ・受入想定国との協議及び調査を実施 ・アスリート選定に係る現地の体制構築のため派遣する本県指導者に対する事前研修を実施 [受入国]フィジー、バヌアツ（想定）</p> <p>(2) スポーツ強化合宿受入れに伴う競技力向上及び交流機会の創出 6,467 [内 容]・県内アスリートとの強化試合や合同練習を実施 ・県内小中高生を対象とした交流プログラム等を実施 [受入国]オーストラリア、フィジー等（想定）</p> <p>(3) ワールドクラスアスリート育成派遣の実施 12,683 [内 容]・国際舞台で活躍するスポーツ人材を育成するため、本県中学生・高校生のトップアスリートをオセアニアの強豪国に派遣 ・現地の合同強化練習や大会等に参加・出場 [対象国]オーストラリア、フィジー（想定）</p>

令和 8 年 度 当 初 予 算 （ 案 ） に お け る 主 要 事 業 の 概 要

人 材 育 成 ・ 活 躍 推 進 部

（単位：千円）

課 名	科 目			新規 継続	事 項 名	予算額 (一般財源)	前年度 予算額 (一般財源)	事 業 の 概 要
	款	項	目					
国際スポーツ 大会推進室	5	1	2	新規	ツール・ド・九州開催事業費	264,470 (196,779)	0 (0)	<p>1 目 的 県内におけるサイクルスポーツのファンや競技人口の増加、地域経済の活性化を図るため、国際自転車競技連合認定の「ツール・ド・九州」を開催する。</p> <p>2 事業概要</p> <p>(1) ツール・ド・九州 2026 の開催 178,017 [開 催 日] 令和8年10月9日（金）～12日（月・祝） 福岡・佐賀ステージの開催日：令和8年10月10日（土） [開 催 地] 福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県 [参加チーム] ワールドチーム含む国内外の18チーム（108名）</p> <p>(2) ツール・ド・九州 2026 の機運醸成 86,453 ①事前イベントの開催 [内 容] 県内各所において、大会や市町村の魅力をPRする機運醸成イベントを実施 ②当日イベントの開催 [内 容] ・コース沿道において、大型観戦モニター、県・地域の食や観光のPRブース等を設置し、協賛社ノベルティ等を観客に配布</p>
				新規	アジア男子バレーボール選手権大会開催費	17,276 (10,361)	0 (0)	<p>1 目 的 「アジア男子バレーボール選手権大会 福岡2026」の開催を契機として、県民がスポーツへの関心を高めることでスポーツ振興につなげるとともに、本県の魅力を世界に発信するため、各種取組を実施する。</p> <p>2 事業概要 ・大会会場周辺で、ワンヘルスの理念や本県の観光・文化の情報発信ブースを設置 ・県産花きによる大会会場の装飾やビクトリーブーケの贈呈 ・ワンヘルス認証農林水産物PR ・小学生観戦招待 ・中学校、高校へのトップアスリート訪問による指導教室</p>
			<p>【大会の概要】 日 程：令和8年9月3日～13日（11日間） 参加数：男子12チーム（国と地域） ※九州初開催 ※優勝国には2028ロサンゼルスオリンピック出場権を付与 ※大会開催に係る県負担金4億円は福岡県スポーツ推進基金から拠出</p>					

令和8年度当初予算（案）における主要事業の概要

人材育成・活躍推進部

（単位：千円）

課名	科目			新規 継続	事項名	予算額 (一般財源)	前年度 予算額 (一般財源)	事業の概要
	款	項	目					
スポーツ 振興課	5	1	2	新規	スポーツフェスタ開催費	26,900 (26,900)	0 (0)	<p>1 目的 インクルーシブ社会の実現に向けた一体感のあるフェスタへとリニューアルするため、県民スポーツ大会と障がい者や高齢者向けの大会を「スポーツフェスタ」に統合する。</p> <p>2 事業概要</p> <p>(1) スポーツフェスタのPR事業 19,900</p> <p>① スポーツフェスタオープニングイベントの実施 [内 容]・こどもやスポーツ未実施層が気軽に参加できるスポーツ体験コーナーや、県内のトップスポーツチームとのスポーツゲーム、ニュースポーツの体験会の開催。 ・県が国際大会を誘致したアーバンスポーツの体験会の開催。 [時 期]令和8年6月（予定）</p> <p>② スポーツフェスタの周知・普及 [内 容]・大会の情報を集約したポータルサイトの作成。 ・スポーツフェスタの認知度向上のためのポスター作成。</p> <p>(2) 県民スポーツ大会を市町村から競技団体による運営へ移行 7,000 [内 容]・大会運営の効率化を図るため、スポーツ大会の開催に精通した競技団体主導による運営に移行し、競技団体運営を補助。 ・誰もが参加できるインクルーシブな大会を目指し、新たにジュニアの部を新設。</p>

令和 8 年 度 当 初 予 算 (案) に お け る 主 要 事 業 の 概 要

人 材 育 成 ・ 活 躍 推 進 部
(単位：千円)

課 名	科 目			新規 継続	事 項 名	予算額 (一般財源)	前年度 予算額 (一般財源)	事 業 の 概 要
	款	項	目					
青少年育成課	10	10	1	新規	高校生∞(無限大) チャレンジ費	39,630 (20,013)	0 (0)	<p>1 目 的 地域や社会で活躍できる若者を育成するため、無限の可能性を持つ高校生を未来を担う主体と位置づけ、様々な課題解決に向けた挑戦を支援する。</p> <p>2 事業概要</p> <p>(1) ローカル イノベーターズ チャレンジ 21,748 [内 容]高校生がチームを組んで地域と連携しながら実践する地域固有の課題・ニーズに応じたチャレンジをコーディネーターが伴走支援。 [対 象]4地域(北九州、福岡、筑後、筑豊)</p> <p>(2)アントレプレナーズ チャレンジ 8,803 [内 容]ソーシャルビジネスの起業を目指す高校生に対し、専門家の助言と資金援助により支援。 [対 象]6企画</p> <p>(3) キャリア デザイン コミュニティ 9,079 [内 容]チャレンジした高校生と大学生や若手起業家等によるコミュニティを形成し、定期的に交流会や研修会を行い、多様な価値観を学ぶ機会を提供。</p>

令和 8 年 度 当 初 予 算 (案) に お け る 主 要 事 業 の 概 要

人 材 育 成 ・ 活 躍 推 進 部
(単位：千円)

課 名	科 目			新規 継続	事 項 名	予算額 (一般財源)	前年度 予算額 (一般財源)	事 業 の 概 要
	款	項	目					
私学振興課	10	9	2	継続	私立学校振興対策費	70,246,012 (42,672,666)	59,708,438 (36,866,873)	<p>1 目 的 私立学校における教育条件の維持向上、保護者の負担軽減及び学校経営の健全性を高めるために助成を行う。</p> <p>2 事業概要</p> <p>○ 私立幼稚園運営費補助等 11,639,354</p> <p>○ 私立小中学校運営費補助等 3,322,187</p> <p>○ 私立高等学校運営費補助等 22,584,564</p> <p>○ 私立高等学校等就学支援金交付金 24,289,511 (うち 拡 全世帯への支援 23,980,685) (うち 新 高校生等・新修学支援 53,975)</p> <p>○ 私立高等学校等奨学給付金事業費 1,712,850 (うち 拡 中所得世帯への生徒への支援 541,701)</p> <p>○ 私立専門学校授業料等減免補助金 5,951,198</p> <p>○ 私立専修各種学校補助金等 207,198</p> <p>○ 私立学校耐震化促進費 514,242</p> <p>○ 不登校・中途退学対策事業費 10,503</p> <p>○ 私立学校等ワンヘルス教育推進費 14,405</p>

令和7年度2月補正予算（経済対策）（案）における事業の概要

人材育成・活躍推進部
（単位：千円）

課名	科目			新規 継続	事項名	補正 予算額 （一般財源）	現行 予算額 （一般財源）	事業の概要
	款	項	目					
私学振興課	10	9	2	継続	私立学校給食費等保護者負担軽減費	413,904 (413,904)	0 (0)	<p>1 目的 保護者負担の軽減を図るため、物価高騰による給食費の増加分を支援する。</p> <p>2 事業概要</p> <p>（1）給付対象 給食を実施している 私立の幼稚園(302園(見込))、小学校(9校)、中学校(6校)、中等教育学校(1校)</p> <p>（2）給付金額 物価高騰による給食費の増加単価に、年間の給食提供食数を乗じた額 [1食あたり増加単価] ・幼稚園 70円/食 ・小中学校 110円/食（ミルク給食の場合17円/食）</p> <p>（3）対象期間 令和8年4月～令和9年3月</p>